

Torr Seal, Part Number 9530001

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: Torr Seal, Part Number 9530001	
品番 (化学検査キット)	: 9530001	
部品番号	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener	情報なし。 情報なし。
供給者/ 製造者	: 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社	
	住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1	
	電話番号 +81-42-660-3111	
緊急連絡電話番号 (受付時間)	: CHEMTREC®: +(81)-345209637	
化学製品の推奨される用途	: 分析化学。 シーラントおよび接着剤	
	Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	チューブ 69.5 ml – 95 gr
	Agilent Torr Seal – part B – Hardener	チューブ 27.88 ml – 46 gr
使用上の制限	: 情報なし。	

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin

H315	皮膚刺激性 – 区分2
H319	眼刺激性 – 区分2A
H317	皮膚感作性 – 区分1
H351	発がん性 – 区分2
H373	特定標的臓器毒性 (反復ばく露) – 区分2
H400	水生環境有害性 短期 (急性) – 区分1
H410	水生環境有害性 長期 (慢性) – 区分1

Agilent Torr Seal – part B – Hardener

H331	急性毒性 (吸入した場合) – 区分3
H314	皮膚腐食性 – 区分1
H318	眼に対する重篤な損傷 – 区分1
H334	呼吸器感作性 – 区分1
H317	皮膚感作性 – 区分1
H341	生殖細胞変異原性 – 区分2
H350	発がん性 – 区分1A
H360	生殖毒性 – 区分1B
H371	特定標的臓器毒性 (単回ばく露) – 区分2
H372	特定標的臓器毒性 (反復ばく露) – 区分1
H402	水生環境有害性 短期 (急性) – 区分3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin



Agilent Torr Seal – part B – Hardener



2. 危険有害性の要約

注意喚起語	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	警告
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	危険
危険有害性情報	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	H315 – 皮膚刺激 H317 – アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H319 – 強い眼刺激 H351 – 発がんのおそれの疑い H373 – 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ H410 – 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	H314 – 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H317 – アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H331 – 吸入すると有毒 H334 – 吸入するとアレルギー, ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ H341 – 遺伝性疾患のおそれの疑い H350 – 発がんのおそれ H360 – 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ H371 – 臓器の障害のおそれ H372 – 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害 H402 – 水生生物に有害
注意書き		
安全対策	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	P201 – 使用前に取扱説明書を入手すること。 P202 – 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P280 – 保護手袋, 保護衣及び保護眼鏡又は保護面を着用すること。 P273 – 環境への放出を避けること。 P260 – 蒸気を吸入しないこと。 P264 – 取扱い後はよく洗うこと。 P272 – 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P201 – 使用前に取扱説明書を入手すること。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	P202 – 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P280 – 保護手袋, 保護衣及び保護眼鏡又は保護面を着用すること。 P284 – 呼吸用保護具を着用すること。 P271 – 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 P273 – 環境への放出を避けること。 P260 – 蒸気を吸入しないこと。 P270 – この製品を使用するときに, 飲食又は喫煙をしないこと。 P264 – 取扱い後はよく洗うこと。 P272 – 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
応急措置	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	P391 – 漏出物を回収すること。 P308 + P313 – ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察又は手当てを受けること。 P362 + P364 – 汚染された衣類を脱ぎ, 再使用する場合には洗濯をすること。 P302 + P352 – 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。 P333 + P313 – 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察又は手当てを受けること。 P305 + P351 + P338 – 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337 + P313 – 眼の刺激が続く場合: 医師の診察又は手当てを受けること。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	P308 + P311 – ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。 P304 + P340, P310 – 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させること。ただちに

2. 危険有害性の要約

<p>保管</p> <p>廃棄</p> <p>補足的なラベル要素</p>	<p>: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener</p> <p>: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener</p> <p>: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener</p>	<p>医師に連絡すること。 P342 + P311 – 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。 P301 + P310, P330, P331 – 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 P303 + P361 + P353, P310 – 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。ただちに医師に連絡すること。 P363 – 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 P302 + P352 – 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。 P333 + P313 – 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察又は手当てを受けること。 P305 + P351 + P338, P310 – 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。 P405 – 施錠して保管すること。 P405 – 施錠して保管すること。</p> <p>P501 – 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。 P501 – 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。</p> <p>全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざげること。– 禁煙。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。容器を密閉しておくこと。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざげること。– 禁煙。蒸気又はスプレーを吸入しないこと。飲み込まないこと。換気が十分な場所でのみ使用する。取扱い後はよく洗うこと。</p>
<p>その他の危険有害性</p>	<p>: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener</p>	<p>重合は放熱性で、制御不能な反応に変質する可能性がある。 重合は放熱性で、制御不能な反応に変質する可能性がある。呼吸器系の火傷の原因となる。消化管に炎症を引き起こす。</p>

3. 組成及び成分情報

<p>化学物質・混合物の区分</p>	<p>: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener</p>	<p>混合物 混合物</p>
---------------------------	---	--------------------

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS登録番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin				
4, 4' – イソプロピリデンビス(フェノール)・1 – クロロ – 2, 3 – エポキシプロパン 重縮合物	≥40 – ≤50	25068–38–6	7–1283	(7)–1283
Phenol, polymer with formaldehyde, glycidyl ether	≥10 – ≤20	28064–14–4	7–1285	(7)–1285
二酸化チタン	≤10	13463–67–7	1–558; 5–5225	2–(3)–509
2,2' – [methylenebis (p-phenyleneoxymethylene)] bisoxirane	≤10	2095–03–6	情報なし。	0–(1)–66
Agilent Torr Seal – part B – Hardener				

3. 組成及び成分情報

N-(2-アミノエチル)-1, 2-エタンジアミン	≥10 - ≤20	111-40-0	2-159	(2)-159
結晶質-石英	≥10 - ≤20	14808-60-7	1-548	(1)-548
ビスフェノール A4,4'-[1-メチルエチリデン]ビス[フェノール] 2,2-ビス[4'-ヒドロキシフェニル]プロパン	≤10	80-05-7	4-123	4-123
1-アミノエチルピペラジン	≤10	140-31-8	5-961	(5)-961
[2-(3, 4-エポキシシクロヘキシル)エチル]トリメ トキシシラン	≤10	3388-04-3	3-2647	(3)-2647

4. 応急措置

吸入した場合

: Agilent Torr Seal – part A –
Epoxy Resin

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。医師の診断を受ける。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。

皮膚に付着した場合

: Agilent Torr Seal – part A –
Epoxy Resin

多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗淨する。

Agilent Torr Seal – part B –
Hardener

直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗淨する。

眼に入った場合

: Agilent Torr Seal – part A –
Epoxy Resin

すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。

Agilent Torr Seal – part B –
Hardener

直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。

4. 応急措置

<p>飲み込んだ場合</p>	<p>: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin</p>	<p>水で口を洗淨する。入歯をしている場合ははずす。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。医師の診断を受ける。意識がない場合、決して口からも物を与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。水で口を洗淨する。入歯をしている場合ははずす。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。意識がない場合、決して口からも物を与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。</p>
	<p>Agilent Torr Seal – part B – Hardener</p>	

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

<p>吸入した場合</p>	<p>: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener</p>	<p>重大な作用や危険有害性は知られていない。</p> <p>吸入すると有毒 吸入すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。呼吸器系に対し腐食性がある。吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ</p>
<p>皮膚に付着した場合</p>	<p>: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener</p>	<p>皮膚刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ</p> <p>重度のやけどを引き起こす。皮膚に接触すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ</p>
<p>眼に入った場合</p>	<p>: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener</p>	<p>強い眼刺激</p> <p>重篤な眼の損傷</p>
<p>飲み込んだ場合</p>	<p>: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener</p>	<p>重大な作用や危険有害性は知られていない。</p> <p>口、喉および胃に火傷を起こすことがある。消化管に対して腐食性。やけどを引き起こす。飲み込むと、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。</p>

過剰にばく露した場合の徴候症状

<p>吸入した場合</p>	<p>: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener</p>	<p>特にデータは無い。</p> <p>有害症状には以下の症状が含まれる:</p> <p>気道刺激性 咳 喘鳴および呼吸困難 喘息 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の変形</p>
<p>皮膚に付着した場合</p>	<p>: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin</p> <p>Agilent Torr Seal – part B – Hardener</p>	<p>有害症状には以下の症状が含まれる:</p> <p>刺激 充血 有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み及び刺激 充血 水ぶくれになることがある</p>

4. 応急措置

眼に入った場合	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の変形 有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み及び刺激 流涙 充血 有害症状には以下の症状が含まれる:
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	痛み 流涙 充血
飲み込んだ場合	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	特にデータは無い。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	有害症状には以下の症状が含まれる: 胃痛 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の変形
応急処置をする者の保護	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
医師に対する特別な注意事項	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener	火災に応じた消火剤を使用する。 火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener	認知済みのものは無し。 認知済みのものは無し。
特有の危険有害性	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener	重合は放熱性で、制御不能な反応に変質する可能性がある。火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。本製品は水生生物に対して非常に有毒であり、長期にわたり持続する影響を有する。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。 重合は放熱性で、制御不能な反応に変質する可能性がある。火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。本製品は水生生物に対して有害である。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。

5. 火災時の措置

有害な熱分解生成物

: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin

分解生成物には以下の物質が含まれることがある:

二酸化炭素
一酸化炭素
ハロゲン化合物
金属酸化物

Agilent Torr Seal – part B – Hardener

分解生成物には以下の物質が含まれることがある:

二酸化炭素
一酸化炭素
窒素酸化物
金属酸化物

特有の消火方法

: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin

火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。

Agilent Torr Seal – part B – Hardener

火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin

消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

Agilent Torr Seal – part B – Hardener

消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について

: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。全ての発火源を遮断する。危険地域には、発火信号、煙草、火焰機器を持ち込まない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。

Agilent Torr Seal – part B – Hardener

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。全ての発火源を遮断する。危険地域には、発火信号、煙草、火焰機器を持ち込まない。蒸気やミストを呼吸しない。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について

: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin

流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

Agilent Torr Seal – part B – Hardener

流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項

: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。漏出物を回収すること。

Agilent Torr Seal – part B – Hardener

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排

6. 漏出時の措置

水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin

危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。火花を発生しない工具及び防爆型の装置を使用する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

Agilent Torr Seal – part B – Hardener

危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。火花を発生しない工具及び防爆型の装置を使用する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項

: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。皮膚感作障害の病歴を持つ人を、本製剤が使用されるいかなる工程にも就業させてはならない。暴露を避けること一使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。摂取してはならない。環境への放出を避けること。当物質の通常の取り扱い中に呼吸器官への有害危険性が存在する場合は、必ず適切な換気装置を使用するか、あるいは適切な呼吸用保護具を着用する。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。熱、火花、炎、その他の発火源から離れた場所で保管ならびに使用する。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。容器を再利用してはならない。

Agilent Torr Seal – part B – Hardener

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。皮膚感作障害あるいは喘息、アレルギー、慢性または頻発呼吸器疾患の病歴を持つ者を、本製剤が使用されるいかなる工程にも就業させてはならない。暴露を避けること一使用前に取扱説明書を入手すること。妊娠中は暴露を避ける。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。摂取してはならない。環境への放出を避けること。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。熱、火花、炎、その他の発火源から離れた場所で保管ならびに使用する。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。容器を再利用してはならない。

衛生対策

: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin

本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

Agilent Torr Seal – part B – Hardener

保管

安全な保管条件

: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin

現地の法規制に従って保管する。危険混合性物質および着火源を避け、換気の良い冷所に保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避

7. 取扱い及び保管上の注意

Agilent Torr Seal – part B – Hardener

けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用前にセクション10を参照のこと。現地の法規制に従って保管する。危険混合性物質および着火源を避け、換気の良い冷所に保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

: 換気が十分な場所でのみ使用する。工程の隔離、局所排気通風装置あるいはその他の技術的管理設備を使用し、作業者が暴露される空気中の汚染物質濃度をあらゆる推奨あるいは法定暴露限界以下に保つ。

ばく露限界

化学名又は一般名	ばく露限界値
Agilent Torr Seal – part B – Hardener 結晶質-石英	日本産業衛生学会(日本、9/2022)。[結晶質シリカ] OEL-C: 0.03 mg/m ³ 形: 吸入性粉塵

生物学的暴露指数

曝露指標は知られていない。

保護具

呼吸用保護具

: 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。推奨: フィルターのタイプ: A (EN 14387)

手の保護具

: Agilent 機器を使用して、目的に沿って使用すれば、製品の使用によって化学物質と直接接触することはありません。ただし、誤ってしぶきがかかる場合に備えて、品質の良い次のものを着用してください:

手袋の素材: ニトリルゴム
手袋の厚さ: > 0.4 mm
破過時間: > 480 分

素材だけでなく、製造メーカーごとに異なる可能性のあるその他の品質特性に基づいて、適切な手袋を選択してください。正確な破過時間を製造メーカーに確認して、その時間を遵守してください。

眼、顔面の保護具

: リスク評価によって必要とされる場合は、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 化学物質用飛沫防止ゴーグルおよび/またはフェースシールド 吸入危険有害性が存在する場合には、代わりにフルフェース呼吸保護具が必要な場合もある。

皮膚及び身体の保護具

: 作業員の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

物理状態

: Agilent Torr Seal – part A – 液体
Epoxy Resin
Agilent Torr Seal – part B – 液体
Hardener

9. 物理的及び化学的性質

色	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	オフホワイト。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	緑色。
臭い	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	穏やか。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	アンモニア臭。
臭いのしきい値	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	情報なし。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	情報なし。
pH	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	情報なし。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	>7
融点/凝固点	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	情報なし。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	情報なし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	>260°C (>500°F)
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	>100°C (>212°F)
引火点	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	開放式: >200°C (>392°F)
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	密閉式: >100°C (>212°F)
燃焼点	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	情報なし。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	情報なし。
蒸発速度	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	情報なし。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	情報なし。
可燃性	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	該当しない
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	該当しない
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	情報なし。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	情報なし。

蒸気圧	:	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
		化学名又は一般名	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa
		Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin					
		4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(液状のものに限る。)	<0	<0	EU A.4	–	–
		Agilent Torr Seal – part B – Hardener					
		N-(2-アミノエチル)-1,2-エタンジアミン	0.16	0.021	–	–	–
		ビスフェノールA	0	0	OECD 104	0	0
					OECD 104		OECD 104

9. 物理的及び化学的性質

相対ガス密度	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	情報なし。		
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	情報なし。		
相対密度	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	1.57		
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	1.65		
溶解度	: メディア	結果		
	Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin 水	不溶性		
	Agilent Torr Seal – part B – Hardener 水	不溶性		
n-オクタノール/水分配係数	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	該当しない		
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	該当しない		
自然発火点	: 化学名又は一般名	°C	°F	方法
	Agilent Torr Seal – part B – Hardener			
	N-(2-アミノエチル)-1, 2-エタンジアミン	358	676.4	-
	ビスフェノール A,4,4'-[1-メチルエチリデン]ビス[フェノール]2,2-ビス[4'-ヒドロキシフェニル]プロパン	510	950	-
分解温度	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	情報なし。		
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	情報なし。		
粘度	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	情報なし。		
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	情報なし。		
粒子特性				
中央粒径値	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	該当しない		
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	該当しない		
その他のデータ				
追加情報なし				

10. 安定性及び反応性

反応性	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin	この製品は特定の条件下で保管あるいは使用すると安定でない場合がある。より詳細な情報は「危険有害性反応の可能性」を参照。
	: Agilent Torr Seal – part B – Hardener	この製品は特定の条件下で保管あるいは使用すると安定でない場合がある。より詳細な情報は「危険有害性反応の可能性」を参照。

10. 安定性及び反応性

危険有害反応可能性	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener	フリーラジカル開始剤、過酸化物、強アルカリ及び強酸物質又は反応性金属。これらとの接触により、制御不能の発熱重合が起こることがある。 特定の貯蔵または使用条件において危険有害性反応または不安定性を生じることがある。 フリーラジカル開始剤、過酸化物、強アルカリ及び強酸物質又は反応性金属。これらとの接触により、制御不能の発熱重合が起こることがある。 特定の貯蔵または使用条件において危険有害性反応または不安定性を生じることがある。
避けるべき条件	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener	特にデータは無い。 特にデータは無い。
混触危険物質	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener	酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。 酸 アルカリ ハロゲン化炭化水素 2,2'-iminodi(ethylamine) copper alloys ニッケル合金 ニトロ化剤
危険有害な分解生成物	: Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin Agilent Torr Seal – part B – Hardener	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
Agilent Torr Seal – part B – Hardener N-(2-アミノエチル)-1, 2-エタンジアミン	LD50 経皮	ウサギ	1090 mg/kg	-
ビスフェノール A4,4'-[1-メチルエチリデン]ビス[フェノール]2,2-ビス[4'-ヒドロキシフェニル]プロパン	LD50 経口	ラット	1080 mg/kg	-
	LD50 経皮	ウサギ	3600 mg/kg	-
1-アミノエチルピペラジン [2-(3, 4-エポキシシクロヘキシル)エチル]トリメトキシシラン	LD50 経口	ラット	1200 mg/kg	-
	LD50 経皮	ウサギ - オス	866 mg/kg	-
	LD50 経皮	ウサギ - オス、メス	6741 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット - オス、メス	13161 mg/kg	-

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん/ミスト) (mg/l)
Agilent Torr Seal – part B – Hardener	4374.5	4415.1	N/A	2.5	N/A
Agilent Torr Seal – part B – Hardener N-(2-アミノエチル)-1, 2-エタンジアミン	1080	1090	N/A	0.5	N/A
ビスフェノール A4,4'-[1-メチルエチリデン]ビス[フェノール]2,2-ビス[4'-ヒドロキシフェニル]プロパン	N/A	3600	N/A	N/A	N/A
1-アミノエチルピペラジン	500	866	N/A	N/A	N/A
[2-(3, 4-エポキシシクロヘキシル)エチル]トリメトキシシラン	13161	6741	N/A	N/A	N/A

刺激性/腐食性

11. 有害性情報

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	ばく露時間	観察
Agilent Torr Seal - part A - Epoxy Resin 4, 4'-イソプロピリデンビス(フェノール)・1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン 重縮合物	眼 - 軽度の刺激	ウサギ	-	100 mg	-
	皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 uL	-
	皮膚 - 強度の刺激	ウサギ	-	24 時間 2 mg	-
Agilent Torr Seal - part B - Hardener N-(2-アミノエチル)-1, 2-エタンジアミン ビスフェノール A4,4'-[1-メチルエチレン]ビス[フェノール]2,2-ビス[4-ヒドロキシフェニル]プロパン	皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ	-	500 mg	-
	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	24 時間 250 ug	-
	皮膚 - 軽度の刺激 皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ ウサギ	- -	250 mg 24 時間 500 mg	- -
1-アミノエチルピペラジン	眼 - 中程度の刺激 皮膚 - 強度の刺激 皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ ウサギ ウサギ	- - -	24 時間 20 mg 24 時間 5 mg 500 mg	- - -
[2-(3, 4-エポキシシクロヘキシル)エチル]トリメトキシシラン					

呼吸器感作/皮膚感作

情報なし。

生殖細胞変異原性

結論/要約 : 情報なし。

発がん性

結論/要約 : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約 : 情報なし。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
Agilent Torr Seal - part A - Epoxy Resin Phenol, polymer with formaldehyde, glycidyl ether 2,2'-[methylenebis(p-phenyleneoxymethylene)] bisoxirane	区分3	-	気道刺激性 気道刺激性
	区分3	-	
Agilent Torr Seal - part B - Hardener ビスフェノール A4,4'-[1-メチルエチレン]ビス[フェノール]2,2-ビス[4-ヒドロキシフェニル]プロパン	区分1	-	呼吸器
	区分3	-	麻酔作用

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
Agilent Torr Seal - part A - Epoxy Resin 二酸化チタン	区分1	-	呼吸器
Agilent Torr Seal - part B - Hardener 結晶質-石英 ビスフェノール A4,4'-[1-メチルエチレン]ビス[フェノール]2,2-ビス[4-ヒドロキシフェニル]プロパン	区分1	-	免疫系、腎臓、呼吸器 消化管、呼吸器
	区分2	-	

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間
Agilent Torr Seal - part A - Epoxy Resin 4, 4'-イソプロピリデンビス(フェノール)・1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン 重縮合物	急性 EC50 9.4 mg/l 真水	藻類	72 時間
Agilent Torr Seal - part B - Hardener N-(2-アミノエチル)-1, 2-エタンジアミン	急性 LC50 53500 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna	48 時間
ビスフェノール A4,4'-[1-メチルエチレン]ビス[フェノール]2,2-ビス[4'-ヒドロキシフェニル]プロパン	急性 LC50 1014000 µg/l 真水	魚類 - Poecilia reticulata	96 時間
	急性 EC50 1.506 mg/l 海水	藻類 - Prorocentrum minimum - 指数増殖期	72 時間
	急性 EC50 1000 µg/l 海水	藻類 - Skeletonema costatum	96 時間
	急性 EC50 7.3 mg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 LC50 50.4 µg/l 海水	甲殻類 - Artemia sinica	48 時間
	急性 LC50 3.5 mg/l 海水	魚類 - Rivulus marmoratus - 胚	96 時間
	慢性 NOEC 2 mg/l 真水	藻類 - Chlorolobion braunii - 指数増殖期	4 日
1-アミノエチルピペラジン	慢性 NOEC 10 µg/l 海水	甲殻類 - Tigriopus japonicus - ノープリウス	21 日
	慢性 NOEC 30 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	21 日
	慢性 NOEC 0.2 µg/l 真水	魚類 - Carassius auratus - 成体	90 日
	急性 LC50 2190000 µg/l 真水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	テスト	結果	投与量	植種源
Agilent Torr Seal - part A - Epoxy Resin 4, 4'-イソプロピリデンビス(フェノール)・1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン 重縮合物	OECD 301F Ready Biodegradability - Manometric Respirometry Test	5 含有量(%) - 容易ではない - 28 日	-	-
Agilent Torr Seal - part B - Hardener ビスフェノール A4,4'-[1-メチルエチレン]ビス[フェノール]2,2-ビス[4'-ヒドロキシフェニル]プロパン	OECD 301F Ready Biodegradability - Manometric Respirometry Test	74.7 から 81.4 含有量(%) - 容易 - 28 日	-	-
1-アミノエチルピペラジン	OECD 301F Ready Biodegradability - Manometric Respirometry Test	0 含有量(%) - 容易ではない - 28 日	-	-

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
Agilent Torr Seal - part A - Epoxy Resin 4, 4'-イソプロピリデンビス(フェノール)・1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン 重縮合物	-	-	容易ではない
Agilent Torr Seal - part B - Hardener N-(2-アミノエチル)-1, 2-エタンジアミン	海水 2 から 4 日、pH 8、20°C	-	容易
ビスフェノール A4,4'-[1-メチルエチレン]ビス[フェノール]2,2-ビス[4'-ヒドロキシ	-	-	容易

12. 環境影響情報

シフェニルプロパン 1-アミノエチルピペラジン [2-(3, 4-エポキシシクロヘキシル)エチル]トリメトキシシラン	- -	- -	容易ではない 容易ではない
--	--------	--------	------------------

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP _{ow}	BCF	可能性
Agilent Torr Seal - part A - Epoxy Resin 4, 4'-イソプロピリデンビス(フェノール)・1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン 重縮合物	2.64 から 3.78	31	低
Agilent Torr Seal - part B - Hardener N-(2-アミノエチル)-1, 2-エタンジアミン	-5.58	2.8 から 6.3	低
ビスフェノール A 4, 4'-[1-メチルエチリデン]ビス[フェノール] 2, 2-ビス[4'-ヒドロキシフェニル]プロパン	3.4	20 から 67	低
1-アミノエチルピペラジン	-1.48	-	低

土壌中の移動性 : 情報なし。

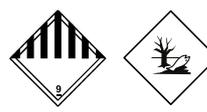
オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要があります。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝、下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
UN番号	UN3316	UN3316	UN3316
品名	CHEMICAL KIT	CHEMICAL KIT	Chemical kit
国連分類 クラス	9 	9 	9 
容器等級	II	II	II
環境有害性	はい。環境面での危険物質として明記する必要はありません。	はい。	はい。環境面での危険物質として明記する必要はありません。

追加情報

UN : 特別条項 251, 340

14. 輸送上の注意

- IMDG** : ≤5 L 又は ≤5 kgのサイズで輸送する場合には、海洋汚染物質マークは要求されない。
緊急時スケジュール F-A, S-P
特別条項 251, 340
- IATA** : 他の輸送規制によって要求される場合には、環境有害性マークが付くことがある。
数量制限 旅客および貨物輸送機: 10 kg。梱包に関する指示: 960。貨物専用輸送機:
10 kg。梱包に関する指示: 960。数量制限 - 旅客機: 1 kg。梱包に関する指示: Y960。
特別条項 A44, A163
- 使用者のための特別な予防措置** : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。
- IMO機器によるばら積み運搬** : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名/種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
Agilent Torr Seal - part A - Epoxy Resin 指定可燃物	可燃性液体類	非該当	非該当	2 m ³
Agilent Torr Seal - part B - Hardener 第四類危険物	第三石油類	III	火気厳禁	2000 L

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	状況	整理番号
Agilent Torr Seal - part A - Epoxy Resin 酸化チタン(IV)	該当	191
Agilent Torr Seal - part B - Hardener ジエチレントリアミン 結晶質シリカ ビスフェノール A4,4'-[1-メチルエチリデン]ビス[フェノール]2,2-ビス[4'-ヒドロキシフェニル]プロパ ン	該当 該当 該当	225 165-2 42-2

名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
Agilent Torr Seal - part A - Epoxy Resin 酸化チタン(IV)	5.0	該当	191
Agilent Torr Seal - part B - Hardener ジエチレントリアミン 結晶質シリカ ビスフェノール A4,4'-[1-メチルエチリデン]ビス[フェノール] 2,2-ビス[4'-ヒドロキシフェニル]プロパ ン	20 20 2.5	該当 該当 該当	225 165-2 42-2

安衛則第577条の2の規定に基づくがん原性物質

化学名又は一般名	状況	整理番号
Agilent Torr Seal - part B - Hardener 結晶質シリカ	該当	-

変異原性物質

化学名又は一般名	状況	整理番号
Agilent Torr Seal - part A - Epoxy Resin ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体	該当	110

15. 適用法令

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
Agilent Torr Seal - part A - Epoxy Resin 4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物（液状のものに限る。）	優先評価化学物質	87
Agilent Torr Seal - part B - Hardener 4, 4'-（プロパン-2, 2-ジイル）ジフェノール	優先評価化学物質	75

毒物及び劇物取締法

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
Agilent Torr Seal - part B - Hardener N-(2-アミノエチル)エタン-1, 2-ジアミン及びこれを含有する製剤	20	劇物	2-1-4-5

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR) - 2023年3月まで

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
Agilent Torr Seal - part B - Hardener 4, 4'-イソプロピリデンジフェノール	2.5	第一種	37

化学物質排出把握管理促進法 - 2023年4月から

化学名又は一般名	含有量(%)	元素として	状況	管理番号
Agilent Torr Seal - part B - Hardener 4, 4'-イソプロピリデンジフェノール	2.5		第一種	37

日本産業衛生学会 発がん性物質 : 第1群

海洋汚染防止法 : 海洋汚染物質: 海洋汚染物質

道路法 : 該当

インベントリリスト

日本 : 日本インベントリ(化審法既存及び新規公示化学物質): 未確定。
日本インベントリ(ISHL): 未確定。

米国 : 未確定。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2024/04/03

前作成日 : 2023/10/03

バージョン : 5

略語の解説

: ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA = 国際航空輸送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。("Marpol" = 海洋汚染)
N/A = データなし
UN = 国際連合

分類を行うために使用する手順

16. その他の情報

分類	由来
Agilent Torr Seal – part A – Epoxy Resin 皮膚刺激性 – 区分2 眼刺激性 – 区分2A 皮膚感作性 – 区分1 発がん性 – 区分2 特定標的臓器毒性(反復ばく露) – 区分2 水生環境有害性 短期(急性) – 区分1 水生環境有害性 長期(慢性) – 区分1	算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法
Agilent Torr Seal – part B – Hardener 急性毒性(吸入した場合) – 区分3 皮膚腐食性 – 区分1 眼に対する重篤な損傷 – 区分1 呼吸器感作性 – 区分1 皮膚感作性 – 区分1 生殖細胞変異原性 – 区分2 発がん性 – 区分1A 生殖毒性 – 区分1B 特定標的臓器毒性(単回ばく露) – 区分2 特定標的臓器毒性(反復ばく露) – 区分1 水生環境有害性 短期(急性) – 区分3	算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法

参照 : 情報なし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。